

議会報告会の開催結果について

1 概要

開催日時 令和4年11月20日(日) 午後2時から午後4時(全会場共通)

参加人数

地域	会 場	人数	出 席 議 員 (◎=班代表)
宮古	イーストピアみやこ	24	◎工藤小百合、高橋秀正、小島直也、畠山茂、鳥居晋
田老	田老公民館	8	◎田中尚、洞口昇一、西村昭二、白石雅一、畠山智章
新里	新里生涯学習センター	7	◎坂本悦夫、落合久三、竹花邦彦、今村 正、古舘 博
川井	川井生涯学習センター	11	◎長門孝則、松本尚美、伊藤清、木村誠、田代勝久
合 計		50	

2 市民との意見交換の内容

(1) 特に重要なもので市長へ要望すべきもの(議長名で市長あてに送付。回答を求める)

会場	項目	内容(詳細・理由等)
田老	公共施設の公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備について	市の公共施設のうち、市役所以外の公民館や集合地になり得る所に、公衆無線LAN(Wi-Fi等)を設置し、オンライン会議等を行えるようにして欲しい。

(2) 市議会への意見・要望として受け止めたもの(議会ホームページで公表)

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
宮古	自治会の野外活動時の保険への助成を市で考えてもらいたい。	(意見・要望)
宮古	一般質問が議員によって時間のばらつきがある。一般質問をどういうふうに位置付けているのか。	一般質問は当局と政策論争をする場で持ち時間は質問・答弁含めて60分以内とされている。質問の中身について指摘を受けたと理解している。議会としてしっかりと取り組んでいきたい。
宮古	タウンミーティングは、市長も部長クラスも出席しとても良いと思う。議会報告会での意見は議会だよりに掲載されるが、全てではない。他の意見の扱いはどうなっているのか。	議会内で協議し、重要案件は議会から市に伝えている。内容によっては、質問者の方に回答することもある。市議会だよりへの掲載は、紙面の都合上割愛する場合もある。
宮古	昨年タウンミーティングで、市制81年の話があった。今問題なのは人口減少だ。20年後のコンパクトシティーなど悠長なことは言っていない。本当にこれから大変だ。	(意見・要望)

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
宮古	キャトルの再開発には多額の予算が必要と思うが、青写真ができていいのか。市民の理解と協力を得るように努め、急がないでじっくり考えてほしい。議員はどのような考えか。	青写真はこれからだ。競売にかかる前に宮古市が取得したい考えた。議員にはそれぞれの考え方、意見があったが権利取得要件は承認された。貴重な意見をしっかりと受け止めていく。
宮古	森林バイオマス利用可能性調査研究委託について、森林とは本市の森林のことか。本市の森林で足りるということか。	本市の森林のことだ。今後、発電等をおこなった場合に消費される木材の量が森林の成長する量を下回ることから、継続が可能で、市内の森林で十分賄える。
宮古	高校生の「みやこ未来議会」ではどのような話し合いがなされたか。	高校生らしい今どきの質問が多かった。自分達の未来について、スマートフォンを活用した市の広報等、将来を見据えた真剣な会議が行われた。
宮古	水産高校の第2グラウンドに東日本大震災後の仮設住宅があった時には、実田回りのバスがあったが、仮設住宅の撤去と共に廃止された。 小山田地区には公共施設が沢山あり、高齢者の利用も多いが、交通弱者にとっては大変不便な地域だ。	(意見・要望)
宮古	横山八幡宮が災害時の避難場所に指定されているが、急な階段で高齢者の避難が大変だ。避難後、解除が長引くこともあり、高齢者にとっては体力の限界を感じる場合もある。安心して避難出来る居場所を考えてほしい。	市民交流センター2階が避難場所として割り当てられている。八幡宮高台より傾斜や寒さの心配がないと思われるため、覚えておいていざという場合に活用してほしい。
宮古	政務活動費の使用状況が以前から見ると減っている。見直しをどのように進めているのか。	現在、政務活動費の使途基準について見直しを行っている。コロナ禍の影響により、2年半視察等ができず、使用が減っているのが実情だ。
田老	国道45号と106号の合流点付近に、山口川の橋の柵があり、東日本大震災の頃に破壊されて未だに修復されていないようだ。 交通量の多い交差点であり、宮古市の景観を損なうおそれがあると思うため、早く復旧するべきではないか。	(対応済) 現地の確認を行い担当課に伝えた。

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
新里	腹帯の大沢地区に 700 町歩を超える共有山があり 35 世帯で管理している。この間、市長から市内中心部と田老を中心に、再生エネルギーを推進するという話があった。腹帯の共有山も再生エネルギー事業に取り組む場所として適地ではないかと考える。意見を聞きたい。	市長の話は、市が国に申請をしていた脱炭素先行地域に選定された件だと思う。田老と旧市内中心市街地の 2 つの地域で先行的に脱炭素の取り組みを進める計画である。太陽光や風力等の再生エネルギー導入を進めると共に省エネ等の取り組みについても進める。2 地域を先行して取り組むが、新里、川井地域とも連携して進めていくとしている。新里が脱炭素先行地域に入っていない点を深く考えなくとも良いと思う。 市では今年度と来年度の 2 カ年をかけて、再生エネを促進するエリア、環境保護等の関係から規制するエリア等について、ゾーニングを決めるとしている。原案ができれば、市民、地域の皆さんと意見交換をする予定である。したがって、腹帯・大沢地区の共有山が再エネを促進するエリアに入ってくるかどうかポイントになるのではないと思う。
新里	ゾーニングという意味では、森林が多い新里、川井が適地だ。太陽光は宮古、田老を含めて大規模にやっているが、パネルの耐用年数の問題があって、設置してから 15 年～20 年後に産業廃棄物として大量に捨てることになる。本当に地球環境に優しいのか疑問だ。 再生エネとは耳障りがいいが、地元に何を貢献するのか、雇用も生まれるわけではない。土地を貸して環境破壊になってはいけない。 新里、川井の恵まれた森林資源の活用、CO₂ 吸収の方が脱炭素に貢献している。ゾーニングでは、そこから入ってもらいたい。それが順番だと思う。	脱炭素先行地域とゾーニングについて誤解して受け止められたのではないか。脱炭素先行地域は、田老、宮古中心市街地を先行して取り組みを進めるというものだが、ゾーニングは新里、川井を含む宮古全域について、再生エネ推進エリア、規制エリア等を設定するというものだ。ゾーニングのエリア設定から新里、川井地域を除外しているということではない。 環境破壊の問題への指摘については、いくら再生エネ活用と言っても、自然を壊して良いとは我々も思っていない。市当局もそういう理解だと思っている。
田老	田老総合事務所跡地に建設する施設は、「津波資料館」ではなく「災害資料館」なのか。当初は、津波資料館だと聞いていたが。	市全体の災害について記録する「資料館」として建設する方向で進んでいる。

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
田老	市は津波防災都市宣言をしている。資料館の建設にあたっては、デジタル技術を使った展示をしている施設が他の自治体にあることから、視察などをして勉強してほしい。	(意見・要望)
田老	キャトルの取得を議会で可決したが、議会等での議論の時間が短かったように思う。キャトルと立体駐車場の間には、別の所有者の物件を残しているが、どのような計画で取得を決めたのか。	駅前再開発に必要な立地適正化計画の策定はこれからだが、市と事業者らで一体的な活用に向け、何らかの組織を作るのではないかとと思われる。
田老	議員定数の削減は、議員間だけで決めるのではなく、市民の意見を取り入れて検討すべきだと思うがどうか。	これからのスケジュールや、市民への説明の機会を含めて、特別委員会で検討中である。
田老	政務活動費は、市民のための活動につながるものなので、視察などで経費を使い切してほしい。	(意見・要望)
田老	市議会では、なぜ通年議会なのか。	今までの定例会期制では、請願などが出たときに、次の会期まで審査を待たなければなかったが、そういった案件に即座に対応できるよう通年議会とした。
田老	市は企業誘致に対してどのように取り組んでいるのか。	企業立地港湾課を新設して取り組んでいる。
田老	自動車免許の返納者の生活支援とともに、使いやすい公共交通の確立をしてもらえないか。	12月1日から田老地域バスを運行する予定である。他の地域に習い、今後も実証を踏まえて検討・改善がはかれる。
田老	市民の意見を反映させるために、議員の定数を削減する必要はない。 また、議員報酬については、宮古市の議員は通年議会制度のもとで活動しているため、日本全体で最低賃金のアップの動きがある中で、適正に考える必要があると思う。	(意見・要望)
新里	議会改革の取り組みとして「タブレット端末」を使用した会議を推進しているとの説明があったが、議会傍聴者の資料等の対応はどうなっているのか。	傍聴者の方々はタブレットを持っているわけではないので、従来どおりペーパーで資料を配布している。
新里	大沢の川を利用して水力発電をしたいという業者が入っていて、水量等进行检查している。(どこの業者かはわからない)	(参考意見)

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
新里	新里、川井の森林資源を活かし、間伐材を利用してチップ燃料にすべきだ。例えば湯ったり館の重油ボイラーをチップ燃料にしたらどうか。CO2削減に貢献できるし、山を育てることになる。それが市の財産になる。そのイメージで（脱炭素を）進める形が一番ではないか。	（意見・要望）
新里	市内の既存企業、特に木材関連企業等を取り巻く環境が非常に厳しいとの話が聞こえてくる。 市は既存企業と十分に意見交換を行いながら、働く場がなくならないように取り組むべきだ。議会でも、もっと足を踏み入れて現状認識を深め、課題対応を進めて欲しい。	（意見・要望）
新里	企業誘致が進んでいない。若い人たちが住み続けるには働く場所の確保が必要だ。 また、農村集落も後継者がなくて衰退し、限界集落に近づいている。そうした点についても議会で考えて欲しい。	（意見・要望）
新里	宮古市では第一次産業の研修制度を使って、3年程度で独立を目指す制度があると聞いたが、この制度があること自体が市民には浸透していない。 実業高校で、その制度を活用した方から成功体験などの話をしてもらうような取り組みを実施したらどうか。子どもたちに宮古から出ていなくても自分でやりたいことができる、自分もやってみたいという夢を持たせることにもつながるのではないかな。	市の第一次産業の担い手育成支援制度は、漁業、林業、農業の全部で実施している。 月12万5千円の支援金を最大2年間支給する制度を作り、担い手育成を行っている。漁業では養殖と漁船漁業で約70人の若者が、農業では確か6人、林業は2人だったと思うが、制度を利用し1次産業に従事している。制度の周知については、市にも積極的に行うよう話をしたい。 高校生に新規就業者の体験等を話してもらう取り組みをしたらどうかという提言は、大事な取り組みと認識させられた。 市では、中・高校生に市内・地場の産業、企業を知ってもらう取り組みを積極的に行っているが、就業者の体験談を通じて地場定着につなげる取り組みを含めて研究したい。

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
新里	農業の現実が厳しいのは事実である。今は農地バンクと言われる中間管理機構が窓口になって借り手と受け手を仲介し農地を管理する仕組みになっているが、令和5年4月から法制化され、県知事の権限が市長に委譲されると聞いている。要は、農地を国の財産として管理していくという方向にスタンスが変わってきているのではと思う。 10年先が見通せないぐらいに限界集落化が目の前に迫っている中で、知恵を出し合って地域にあった農業政策、制度を実施し、地域を守っていく動きが必要と思う。	国の法制化の動き等、提起いただいた点は、産業建設常任委員会を中心に研究していくことになると思うが、今後の議会としての活動、研究の参考にしたい。
新里	市の人口は平成 17 年に合併してから1万5千人以上減少している。人口減少対策は、子育て支援、移住、仕事の確保等々、多岐にわたって考える必要がある。委員会でも様々な活動を行っているようだが、優先して取り組む問題ではないか。 議会全体で総力を挙げて人口減少対策について調査・研究し、市当局に掛け合い実現して欲しい。要望したい。	人口減少対策をオール議会で取り組むべきとの要望について、議会運営委員会で議論することを含め、研究、検討させていただきたい。 ※議員全員協議会で、この意見について共有しました。
新里	J R 東日本が赤字ローカル線の収支公表をしたが、住民は山田線を含め赤字地方線が廃止になるのではとの思いを強くしているのが現状と思う。高齢化が進むと、車での移動より交通機関を利用する方が多くなる。「鉄道がなくなると地域は廃れて行く」との北海道の町長の言葉もある。 10月14日から1週間、J R 東日本がキャンペーンで安い切符を販売したら、山田線の車両2両が満員だった。三陸の観光は都会の人から見るとすごくいいと思っている。賑わいを出すためには鉄路が必要と思う。 J R 山田線を残すことを基本に、議会でも議論し、良い方策を見出して欲しい。	9月議会の一般質問で、山本市長は「山田線は必要だ。なくてはならない鉄路だ」との認識を示し、しっかり取り組むとの決意を答弁した。 鉄道は、住民の足を守ると同時に、観光産業の振興、観光客を呼び込むと言う意味でも重要な公共交通機関である。 オール議会として山田線の存続に向けて合意形成し、利用者増の取り組みをしていくことが必要だ。

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
新里	山田線が必要だと言うのはその通りだが、利用したくても利用できない現状がある。孫が高校通学で山田線を利用しているが、風が吹いた、雨が降ったといったは止まる、シカに当たった、落ち葉で滑ったといったは止まる。現状を改善しないまま、利用進と言っても難しいのではないか。 この要因は、軽量化、1両運行しているからではないか。また、シカとの衝突が増えているが、シカ自体の増加は確かだが、線路脇が林化している状況、環境も影響しているのでは。保線の環境整備が以前より行き届かなくなっているのではないか。	ご指摘のとおりだと思う。昨年の川井地区での議会報告会でも同様の意見が出された。鉄路は定時性、つまり時間どおりに運行される点が優位性の一つだが、現状の山田線は定時制が確保されていない問題点がある。 このことについて、議会でも市からＪＲに対策と改善を求めるよう要望している。市長もＪＲ盛岡支社等に要望活動を行っているが、なかなか改善されていない実態にある。引き続き、議会としても市とともにＪＲに対して現状の改善に向けた働きかけを行っていく。
新里	ロシアのウクライナ侵攻から９ヵ月になる。市では３月にウクライナへの募金活動を実施したが、市議会として取り組んだことは耳にしていない。議会で取り組んでいるのか。	市議会では日本赤十字を通じて支援金（議員１人１万円・２２万円）を既に送っている。 また、３月議会においてロシアの軍事侵攻の非難決議を全会一致で決議し、ロシア大使館に送付し抗議をした。
川井	早池峰山の自然保護に市も力をかけてほしい。（監視小屋の改修や監視人の待遇改善を含む）また、山開きの際には市長にも参加してほしい。	（意見・要望）
川井	現在、利用しているごみ収集ボックスが壊れている。また、市の掲示板が古くなり使われていないが、どこに連絡をすればいいのか。（川井村時代に設置されたもの）	確認して報告をする。
川井	マイナンバーと保険証の紐付けが進んでいないのではないか。	（意見・要望）
川井	マイナポイントが使える店舗が限られている。使える店舗の周知が必要ではないか。	（意見・要望）
川井	議会報告会以外にも地域の声を吸い上げる場を考えてほしい。	（意見・要望）
川井	門馬小学校跡地活用が地域の拠点となるように地元では様々考えているので協力してほしい。	（意見・要望）

会場	市民からの質問・意見等	会場での議員の回答・対応等
川井	民生委員の成り手がおらず欠員の状態にある。やりたいと思えるような仕組みを検討すべきではないか。	委員会で研究中のテーマであり、引き続き取り組んでいきます。
川井	落ち葉や積雪による車輪の空転や野生動物との衝突が度々あり、長時間列車内に閉じ込められている。ＪＲに対策を強く求めている。	(意見・要望)
川井	達増部～箱石間に整備される国道 106 号の取り付け道路は、箱石地区に乗り入れできるようにしてほしい。	(意見・要望)
川井	民生委員、児童委員等の会議は現在、市の本庁舎まで行って参加しているが、リモートで会議できないものか。	(意見・要望)